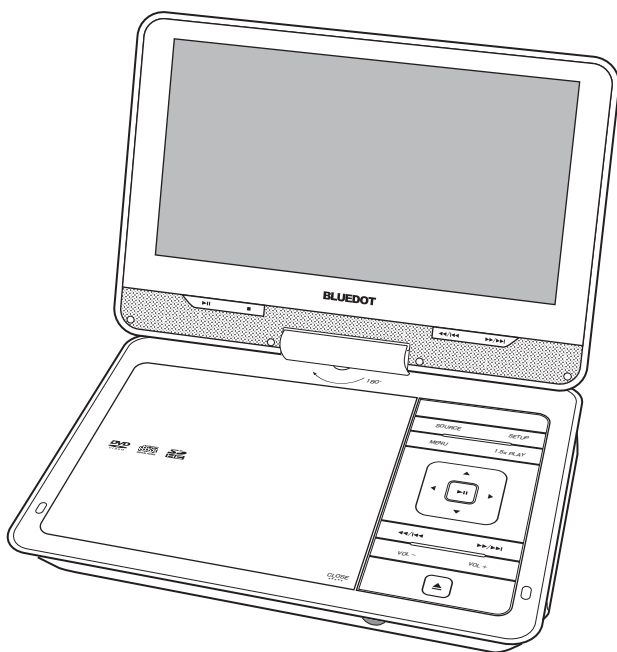


BLUEDOT®

10インチワイドTFTモニター
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1030

取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特長

1. 10インチ 184万画素の回転式液晶搭載

10インチでワイドSVGA（1024×600×RGB＝184万画素）の高精細液晶を搭載。DVDの映像を余すことなく美しく表現することができます。また、ディスプレイを180度ぐりと回転させることができるので、画面を目の前に引き寄せてより迫力ある映像を楽しみいただけます。

2. 約6時間の長時間バッテリーを内蔵

DVDを約6時間再生可能なバッテリーを搭載。長時間の移動でも、心おきなくDVDをお楽しみいただけます。内蔵バッテリーなのでバッテリーパックを別途持ち運ぶ必要もありません。

※ 充電時間は約8時間です。

※ 明るさ標準、イヤホン使用時の参考値です。使用環境やバッテリーの状態などにより変動する場合があります。

3. 車載で便利なFMトランスミッターを内蔵

FMトランスミッターを内蔵していますので、車の中ではカーステレオに音声を飛ばして再生することができます。車のエンジン音や走行音でかき消されがちな本体スピーカーに代わって、より大きく迫力あるスピーカーでDVDをお楽しみいただけます。ご自宅でもコンポなどに音声を飛ばせば、高音質でDVDをお楽しみいただけます。

4. CPRM対応ディスクの再生に対応

デジタル放送を録画したCPRM対応ディスクの再生に対応。レコーダーで録りためたテレビ番組を、移動中や旅先、通勤通学や待ち合わせなどの空き時間を使ってお楽しみいただくことができます。

※ 読み込みにかかる時間や動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。

5. 早見早聞、CMスキップ対応で便利

学習時やすきま時間を効率的に楽しみたい時に便利な「早見早聞(1.5倍速)」に対応。教材ビデオやドキュメンタリービデオなどを短時間で視聴する場合や、内容を音声で確認しながら見たいシーンを探すとといった場合に便利です。また、録画ディスクのCMスキップなどに便利な「27秒送り」、「10秒戻し」ボタンも搭載しています。

※ 音楽CDやSDHC/SDカード、USBメモリーなどでは早見早聞はできません。

6. 拡張されたレジューム機能を搭載

本に『しおり』をはさむように、今まで観ていたシーンを覚えてくれるレジューム機能も搭載。再び電源を入れたとき、前回の続きから映像をお楽しみいただくことができます。本機では、DVDビデオやCPRM対応ディスクなどで5枚分まで最後の再生位置を記憶できるので、家族で共有してお使いの場合でも安心してお楽しみいただけます。

※ 音楽CDのレジューム記憶枚数は1枚です。

7. SDHCメモリーカードの再生に対応

従来のSDメモリーカードに加え、最大32GBまでのSDHCメモリーカードに記録されたMP3ファイルやJPEGファイルなどを再生することができます。

※ メモリーカードの製造メーカーや記録の状態などによっては再生できない場合があります。

もくじ

はじめに	2	サーチ(早送り/早戻し)	18
本機の特長	2	スキップ(飛び越し)	18
もくじ	3	27秒送り(CMスキップ)	18
安全にお使いいただくために	4	10秒戻し	18
お使いになる前に	7	レジューム機能	18
用語の説明	7	ズーム再生	19
本機で再生できるメディア	8	リピート再生(繰り返し)	19
本機で再生できるリージョンコード (地域番号)	8	AB リピート再生	19
各部の名前	9	ジャンプ機能	20
本体	9	ブックマーク再生	21
リモコン	10	数字ボタンで選択する	21
外部機器と接続するとき	11	再生情報を表示する	22
テレビに接続する	11	消音(ミュート)にする	22
テレビとオーディオアンプ、またはAVアンプ に接続する	11	スタンバイにする	22
外部の映像を本機で再生する	12	スリープ機能	22
電源の準備	13	カーステレオなどに音声を飛ばす (FMトランスミッター)	23
電源の接続	13	MP3/JPEG ファイルを再生する	24
内蔵バッテリーを充電する	13	準備	24
リモコンの使いかた	14	メニュー画面から選んで再生する	25
基本的な使いかた	15	いろいろな再生をする	25
ディスプレイを回転させる	16	JPEG ファイルのいろいろな再生	26
いろいろな再生をする	17	初期設定を変更する	27
DVDのメニュー再生	17	設定内容の説明	27
字幕(サブタイトル)を切り換える	17	各種設定を行う	31
音声(オーディオ)を切り換える	17	パスワードを変更する	31
早見早聞再生	17	液晶画面を調節する	32
低速再生(スロー再生)	17	故障かな?と思ったら	33
		技術仕様	35

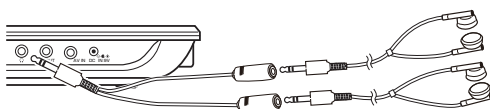
付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

・本機専用オーディオ・ビデオコード	1	・カーバッテリーアダプター	1
・ヘッドホン端子分岐ケーブル	1	・取扱説明書	1
・リモコン	1	・保証書	1
・ACアダプター	1		

※ヘッドホン端子分岐ケーブルを使えば、2つのヘッドホンで同時に音声をお楽しみいただけます。

右側面



ヘッドホンは付属しません。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		記号は、禁止される行為を表しています。
		記号は、行わなければならないことを表しています。

警告



プラグを
抜く

異常な状態が見つかったら

煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



禁止

航空機内、病院や医療機器の近く、自動ドアや火災報知器など自動制御機器の近くではFMトランスミッターをオフにする。

機器の誤作動などにより人命に関わる重大事故の原因となる恐れがあります。心臓ペースメーカーに影響を与える恐れがありますので同機器の近くや満員電車など混雑した場所では使わないでください。



ACアダプターなどは必ず付属品を使う。

指定以外のものを使用すると、火災や破損の原因となります。



禁止

ひざの上で長時間使用しない。

本体の底面が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となります。



禁止

付属のACアダプターはAC100～240V、50/60Hz以外の電源で使えない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電、破損の原因となります。

また、海外での使用で故障した場合は、保証対象外となります。



禁止

付属のカーアダプターはDC12V以外の電圧で使えない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



内蔵バッテリーは指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。



電源コードは正しく抜き差しする。

- ・濡れた手で抜き差しをしない。
 - ・電源プラグを持って抜き差しし、コードは引っ張らない。
 - ・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・ほこりや汚れを付けたまま使用しない。
- 火災や感電の原因となります。



警告



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
 - ・上に重いものを載せない。
 - ・ステープルなどでとめない。
 - ・熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

内蔵バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。

液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。



禁止

レーザー光線は絶対にのぞかない。

ディスクの読み取りには、レーザー光線を使用しています。本体ケースを開けたり、本書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないでください。視力障害の原因になる場合があります。



禁止

次のような場所には置かない。

- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- ・風呂場など、湿気やほこりの多い場所。
- ・加湿器のそばなど、煙や湯気が出る場所。
- ・窓を閉めきった車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
- ・花瓶やコップのそばなど、水がかかりやすい場所。

本体が落下して破損したり、熱や水滴による破損や火災、感電の原因となります。



禁止

布や布団で覆わない。

本体やACアダプターなどを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもると、ケースの変形や火災の原因となります。



禁止

内部に異物や水などを入れない。

本体やACアダプターなどの内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、液体をこぼしたりしないでください。火災や感電、破損の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない

落としたり強い衝撃を与えたりして本体が破損した場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。また、弊社で責任を負うことができず、保証対象外となります。



禁止

運転中は絶対に使用しない。

車や自転車、オートバイなどを運転しながらまたは歩行しながらの視聴は、絶対におやめください。また運転中、運転手以外の方が視聴する場合は、運転の妨げとならないよう、音量などに注意してください。重大な交通事故の原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に置く。

本体の開閉時に指を挟んでけがをしたり、ボタン電池、メモリーカードなどの部品を飲み込んで窒息したり中毒になる恐れがあります。

万一何かを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。



禁止

雷が鳴り始めたら

本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

注意



プラグを
抜く

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグを
抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電や破損の原因となります。



プラグを
抜く

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプターやオーディオ・ビデオコードなどを外してから移動してください。コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

機器の上に重いものを載せない。

機器の上に重いものを載せないでください。また、機器の上に乗らないでください。破損やけがの原因となります。



ボタン電池は指定のものを使用する。

リモコンの電池は必ず「CR2025」を使用してください。また、＋極と－極の向きに注意して、正しく交換してください。火災や破損、液漏れの原因となります。



ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。また、ディスクが傷つく恐れがあります。



禁止

破損または変形したディスクは使用しない。

本体を傷つけたり、本体内部に破片が飛び散ったりする恐れがあります。また、ディスクをさらに傷つける恐れがあります。



音量は徐々に大きくする。

電源をオフにする前や外部機器と接続する前、ヘッドホンを抜き差しする前には、あらかじめ音量を小さくしてください。突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて音を聞くと、聴力障害の原因となります。ヘッドホンを使用するときは特に注意してください。



禁止

映像を長時間続けて見ない。

映像を長時間続けて見ると、視力障害の原因となります。また、目だけでなく体の一部に疲労感や痛みが出る恐れがあります。そのときは使用を中断して、しばらく休息をとってください。万一休息しても回復しない場合は、すぐに医師に相談してください。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- ・再生後はディスクケースに保管してください。



ディスクの掃除

再生前に、柔らかくて清潔な布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露(露つき)について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズなどに結露し、故障や再生不良の原因となります。

その場合は、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
	DVDの機能
	CDの機能

用語の説明

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。

このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。

このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

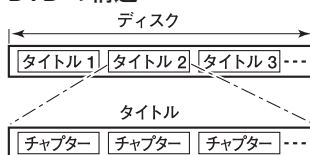
MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質のまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

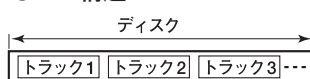
JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

DVDの構造

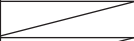


CDの構造



本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	DVD		動画	12cm
				8cm
DVD-VR (VRモード)	DVD		動画	12cm
				8cm
CDDA	オーディオCD		音楽	12cm
				8cm
MP3	データDVD/データCD/メモリーカード/USBメモリー		音楽	
JPEG	データDVD/データCD/メモリーカード/USBメモリー		画像	

- ◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW、SDHC/SDメモリーカード/USBメモリーを再生することができます。

次のメディアは本機では再生できません

- ※ ブルーレイ、HD DVD、DVD オーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
- ※ AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスクには対応していません。
- ※ レコーダーで録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応していません。
- ※ パケットライト方式で記録されたデータディスクには対応していません。
- ※ microSD/miniSDメモリーカードをお使いいただくときは、市販の変換アダプターが別途必要です。
- ※ コピーコントロールCDなどの特殊なディスクは再生できない場合があります。
- ※ メディアの記録状態やフォーマット、製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVDビデオ及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。

市販のDVDビデオは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。

日本国内のリージョンコードは“2”です。

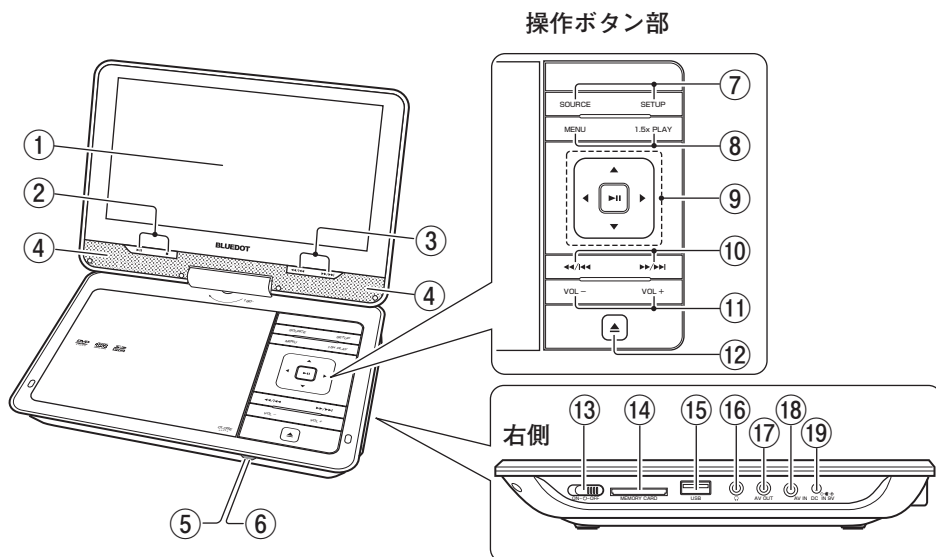
本機のリージョンコードも“2”に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。



- ※ リージョン“ALL”はリージョン“0”と表現されていることがあります。

各部の名前

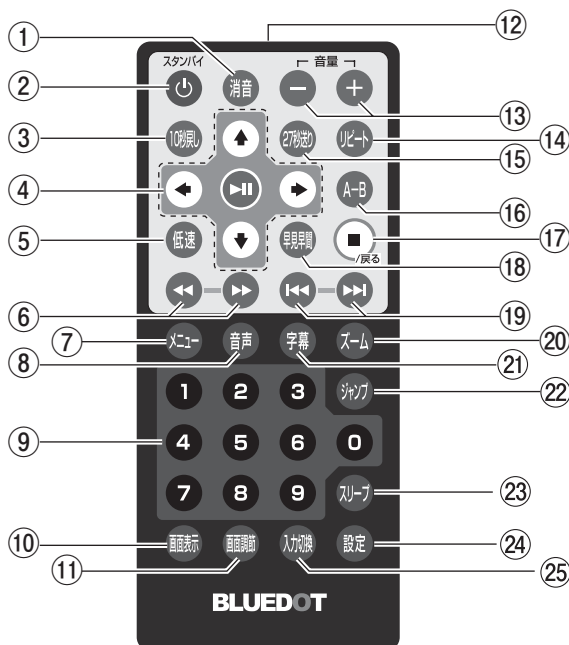
本体



- ① 液晶画面表示部
- ② 再生/一時停止ボタン(▶||)ボタン/
停止(■)ボタン
- ③ 早戻し(◀◀)/前スキップ(◀◀)ボタン*
早送り(▶▶)/後スキップ(▶▶)ボタン*
- ④ スピーカー
- ⑤ リモコン受光部
- ⑥ 電源/充電ランプ
- ⑦ 入力切換(**SOURCE**)ボタン/
設定(**SETUP**)ボタン
- ⑧ メニュー (**MENU**)/
早見早聞(**1.5×PLAY**)ボタン
- ⑨ 上/下/左/右方向ボタン
再生/一時停止(▶||)/決定ボタン
- ⑩ 早戻し(◀◀)/前スキップ(◀◀)ボタン*
早送り(▶▶)/後スキップ(▶▶)ボタン*
- ⑪ 音量(**VOL**)－/＋ボタン
- ⑫ 開く(▲)ボタン
- ⑬ 電源(**ON/OFF**)スイッチ
- ⑭ メモリーカード(**MEMORY CARD**)
スロット
- ⑮ **USB** 端子
- ⑯ (ヘッドホン端子)
付属の分岐ケーブルを使えばヘッドホン
を2本同時に接続できます。
ヘッドホンを接続すると本機のスピーカ-
からは音がでなくなります。
- ⑰ **AV OUT** 端子
- ⑱ **AV IN** 端子
- ⑲ **DC IN 9V** 端子

※ 通常通り短く押すとサーチ(早送り/早戻し)、1秒以上長く押すとスキップ(飛び越し)として機能します。

リモコン

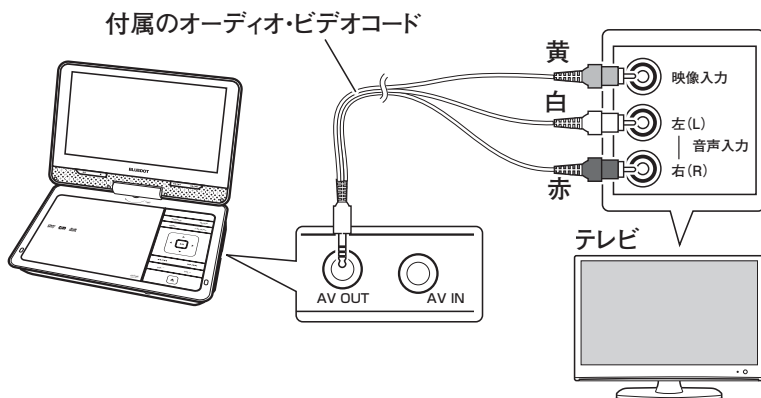


- | | |
|--|----------------------------------|
| ① 消音ボタン | ⑬ 音量－/＋ボタン |
| ② ㏻(スタンバイ)ボタン | ⑭ リピートボタン |
| ③ 10秒戻しボタン | ⑮ 27秒送りボタン |
| ④ 上/下/左/右方向ボタン
▶ (再生/一時停止)/決定 ボタン | ⑯ A-B リpeatボタン |
| ⑤ 低速ボタン | ⑰ ■ (停止)/戻るボタン |
| ⑥ ◀◀ (早戻し)ボタン
▶▶ (早送り)ボタン | ⑱ 早見早聞ボタン |
| ⑦ メニューボタン | ⑲ ◀◀ (前スキップ)ボタン
▶▶ (後スキップ)ボタン |
| ⑧ 音声ボタン | ⑳ ズームボタン |
| ⑨ 数字ボタン | ㉑ 字幕ボタン |
| ⑩ 画面表示ボタン | ㉒ ジャンプボタン |
| ⑪ 画面調節ボタン | ㉓ スリープボタン |
| ⑫ 送信部 | ㉔ 設定ボタン |
| | ㉕ 入力切換ボタン |

外部機器と接続するとき

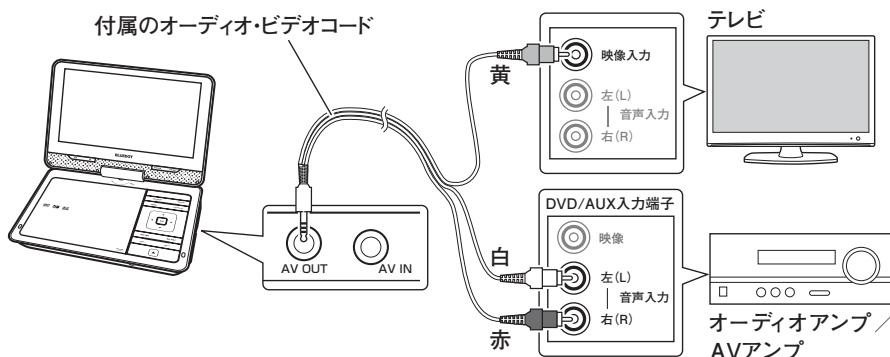
⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

テレビに接続する



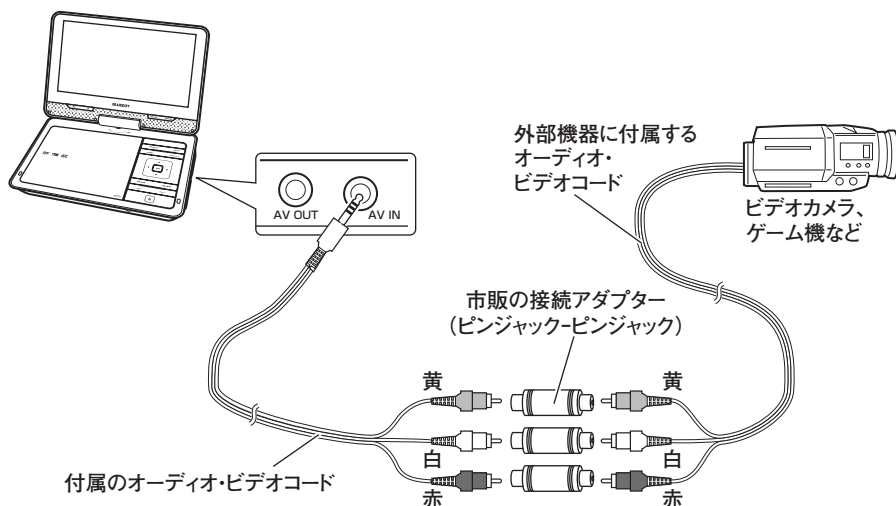
- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、テレビの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**端子に接続します。赤白黄のピンジャックをそれぞれ対応するテレビの入力端子に接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。

テレビとオーディオアンプ、または AV アンプに接続する



- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、アンプの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**端子に接続します。赤白のピンジャックはアンプの音声入力端子に、黄のピンジャックはテレビの映像入力端子に接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。

外部の映像を本機で再生する



- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の **AV IN** 端子に接続します。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ・ビデオコードとを、市販の接続アダプターを使って接続します。
- ◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

AV 入力モードに切り換える

外部機器を再生するときは、入力切換 (SOURCE) ボタンで AV 入力モードに切り換えてください。ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

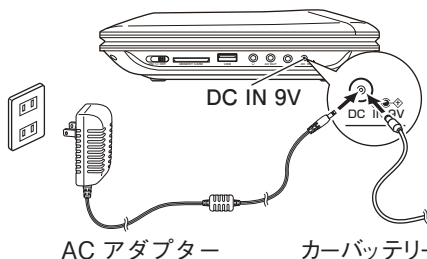
- ➊ **AV 入力** : AV IN 端子に接続した外部機器の映像を本機でご覧になるとき。
- ➋ **DVD** : 本機の液晶画面でご覧になるとき。
また、AV OUT 端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。

- ◆ ご購入後に本機の電源スイッチをオンにした直後は、➋の状態になっています。
- ◆ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になることがありますが、故障ではありません。
- ◆ 映像信号が入力されていない場合、画面は青になります。
- ◆ 電源スイッチをオフにしても最後の状態が保持されます。
- ◆ AV 入力をご使用後、DVD を再生する場合はオーディオ・ビデオコードのミニプラグをはずしてからご使用ください。

電源の準備

電源の接続

AC 電源で使用する



- ◆ 付属のACアダプターを本機のDC IN 9V端子に接続します。
- ◆ 付属のACアダプターは交流100V～240Vに対応しています。(保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。)
また、付属のカーバッテリーアダプターは12V車専用です。



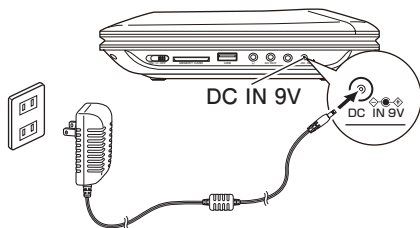
- 指定の電圧以外では使わないでください。
- ACアダプターやカーバッテリーアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

内蔵バッテリーで使用する



- ◆ 充電電池の残りが少なくなると、画面右下に電池マークが表示され、点滅します。
- ◆ 工場出荷時は内蔵バッテリーは充電されていません。ご使用前に下の手順に従って充電してください。

内蔵バッテリーを充電する



- ◆ 付属のACアダプターのDCコード側を本体のDC IN 9V端子に接続し、プラグ側をコンセントに差し込みます。
- ◆ 充電が開始して、充電ランプが赤色に点灯します。
- ◆ 約8時間でフル充電になり、充電ランプが消灯します。
- ◆ 充電回数の目安は約500回です。



1. 充電中「充電ランプ」が点灯している間はACアダプターを外さないでください。
充電時間は目安であり、外部環境や内蔵バッテリーの状態などによって変わります。
2. 充電中や再生中は本体底面が温かくなることがありますが、故障ではありません。

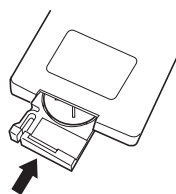
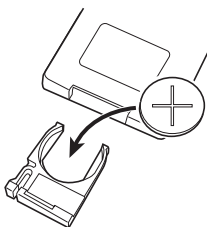
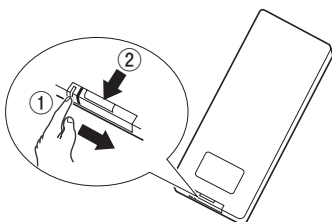
リモコンの使いかた

電池を入れる

工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用前に保護シートを丁寧に引き出してください。

また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

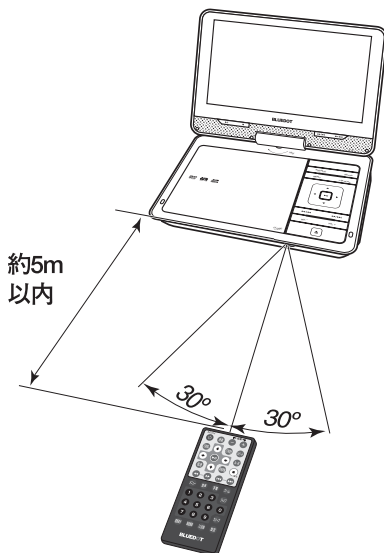
1. 電池ホルダーを外す 2. 電池を入れ換える 3. 元に戻す



①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 CR2025」をご使用ください。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。



注意 リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

基本的な使いかた

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする

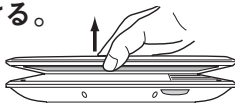
1. 電源の準備をする。

13 ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。



3. カバーの手前を持って、カバーを開ける。

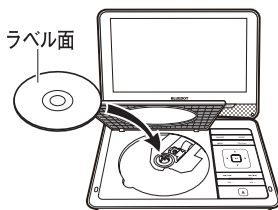


4. 開く(▲)ボタンを押してディスクトレイカバーを開ける。



5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッと固定されるようにセットします。



6. ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーの手前の「CLOSE」マークを押して、カチッとロックするまでしっかり閉めます。

再生を始める

再生 / 一時停止 (▶||) ボタンを押す。



- ◆ DVD によってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は方向ボタンや再生 / 一時停止 (▶||) ボタンでメニューの内容を選んでください。

停止する

停止 (■) ボタンを押す。



- ◆ 停止後に再生 / 一時停止 (▶||) ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。
- ◆ 完全に停止する場合は停止 (■) ボタンを 2 回押します。

一時停止する

再生中に再生 / 一時停止 (▶||) ボタンを押す。



- ◆ 一時停止中に再生 / 一時停止 (▶||) ボタンを押すと通常再生に戻ります。

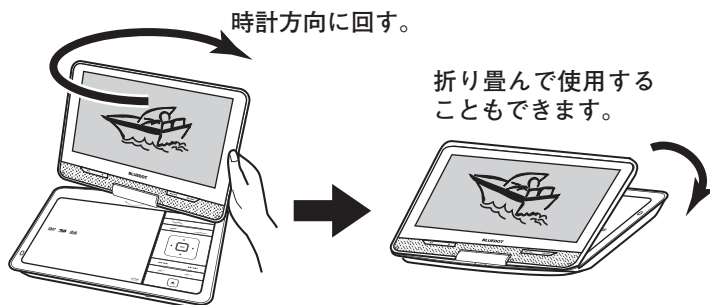
操作禁止マークについて

DVD では、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。その場合は右図のマークが表示されます。



ディスプレイを回転させる

ディスプレイを 180° 回転させて折り畳んで使用することができます。



時計方向に回す。

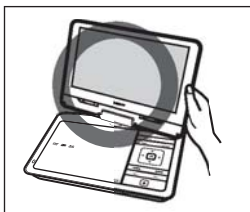
折り畳んで使用する
こともできます。

- ◆ ディスプレイ面のボタンでサーチ/スキップ(◀◀/▶▶、◀◀◀/▶▶▶) (15ページ参照)、再生/一時停止(▶||)、停止(■)の各操作ができます。



1. ディスプレイ部は時計方向に 180° 回転できます。逆方向には 90° 回転できません。これらの角度以上に無理に回そうとしないでください。破損する恐れがあります。
2. 本機のディスプレイ部を回転させるとき、誤った方法で行うと本体に傷がついてしまう恐れがあります。下記の例に従って正しくご利用ください。

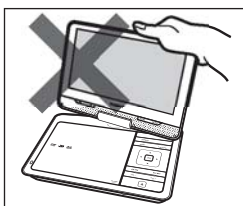
○ 良い例



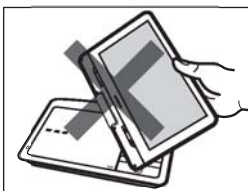
液晶画面に直接手を触れないよう注意しながら、ディスプレイの下部をつかんで回転させます。
このとき、ディスプレイ部を少し持ち上げる感じで回転させると、本体を傷つけることなくスムーズに回転します。

× 悪い例

ディスプレイの上部をつかんで回転させると、圧力により下部が本体と接触してしまい、本体に傷がつく恐れがあります。



ディスプレイ部を倒した状態で回転させると、下部が本体やボタンなどと接触してしまい、本体や液晶画面に傷がつく恐れがあります。



いろいろな再生をする

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

DVDのメニュー再生

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

メニューを表示する

1. メニューボタンを押す。



- ◆ メニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向(▲/▼/◀/▶)ボタンや再生/一時停止(▶||)ボタンでメニューの内容を選ぶ

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはディスクケースなどをご参照ください。

字幕(サブタイトル)を切り換える

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。

3種類の字幕が選択できることを示します。



- ◆ 字幕を表示させたくないときは、字幕ボタンを繰り返し押して字幕オフにします。
- ◆ 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を切り換えることはできません。

音声(オーディオ)を切り換える

ディスクに複数の音声記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声ボタンを押す。

押すごとに、音声切り換わります。



4種類の音声を選択できることを示します。

音声 3/4 AC3 5.1ch 日本語

- ◆ 音声1つしか記録されていないディスクでは、音声切り換えることはできません。

早見早聞再生

DVDの映像を音声付きで早送り再生することができます。

早見早聞ボタンを押す。

音声付きで約1.5倍速再生します。



- ◆ もう一度早見早聞ボタンを押す、または再生/一時停止(▶||)ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- ◆ 早見早聞機能はDVDビデオおよびVRモードで記録されたDVD(CPRM対応を含む)に対応しています。その他のメディアでは機能しません。

低速再生(スロー再生)

ディスクを低速再生することができます。

低速ボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。



1/2→1/4→1/8→1/16→通常再生

- ◆ 低速再生中に再生/一時停止(▶||)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

いろいろな再生をする（続き）

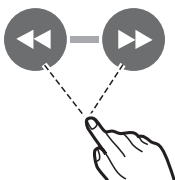
サーチ(早送り/早戻し)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、5段階で再生速度が変わります。

早戻し 早送り



- ◆ サーチ中に再生/一時停止(▶||)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ(飛び越し)

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(I◀◀/▶▶I)ボタンを押す。

▶▶Iボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。



I◀◀ボタンを押す

1回押すと、再生中のチャプターまたはトラックの出だしに戻ります。
その後は押すごとに、前のチャプターまたは前のトラックの出だしに戻って再生を始めます。



- ◆ 本体のサーチ、スキップ(◀◀/I◀◀, ▶▶/▶▶I)ボタンを2秒以上長く押すと、スキップボタンとして機能します。

27秒送り(CMスキップ)

約27秒先に飛び越すことができます。

27秒送りボタンを押す。

押すごとに、約27秒先に飛び越します。



- ◆ 再生中は本体右方向(▶)ボタンも27秒送りボタンとして機能します。
- ◆ CMが1分間以上続くときは複数回押します。

10秒戻し

27秒送りや早送りで先へ行きすぎた場合に10秒間戻ることができます。

10秒戻しボタンを押す。

押すごとに、約10秒前に戻ります。



- ◆ 再生中は本体左方向(◀)ボタンも10秒戻しボタンとして機能します。

レジューム機能

再生中に電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. ディスクの再生中に電源スイッチをオフにする/スタンバイ(⏻)ボタンを押す。
2. もう一度電源オンにすると、中断した位置から再生が始まります。

- ◆ 再生位置の情報はDVDで5枚分まで記憶できます。6枚目のDVDの情報を記憶すると最も古い情報から記憶が解除されます。
- ◆ 停止(■)ボタンを2回押してディスクを完全に停止した状態で電源をオフにすると停止位置の記憶が解除されます。
- ◆ 音楽CDのレジューム記憶枚数は1枚です。
- ◆ 静止画のレジュームはサポートしていません。

いろいろな再生をする（続き）

ズーム再生

映像を拡大、または縮小することができます。

ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



- ① ×2
- ② ×3
- ③ ×4
- ④ ×1/2
- ⑤ ×1/3
- ⑥ ×1/4
- ⑦ 通常再生

- ◆ 拡大表示のとき、方向(▲/▼/◀/▶)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。
- ◆ ズームボタンを繰り返し押して倍率表示を消すと、通常再生に戻ります。

リピート再生(繰り返し)

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時



- ① チャプター
- ② タイトル
- ③ すべて
- ④ 通常再生

CD 再生時



- ① トラック
- ② すべて
- ③ 通常再生

- ◆ リピートボタンを繰り返し押して表示をオフにすると、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。
- ◆ ディスクによっては操作できないことがあります。

AB リピート再生

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. リピートを開始させる場所で A-B ボタンを押す。



2. リピートを終了させる場所で、もう一度 A-B ボタンを押す。



- ◆ 指定した区間を繰り返し再生します。
- ◆ A-B ボタンを繰り返し押して表示をオフにすると、再生中の位置から通常再生に戻ります。

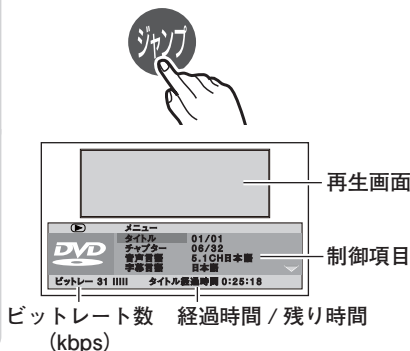
ジャンプ機能

タイトルやチャプターの番号を指定したり、それぞれの先頭からの時間を指定して、その位置にジャンプすることができます。DVD では字幕・音声・リピートなどの各種制御が行えます。

DVD 再生時

1. 再生中にジャンプボタンを押す。

コントロール画面が表示されます。



2. 上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

上下方向(▲/▼)ボタンまたは数字ボタンで各項目を設定し再生/一時停止(▶||)ボタンで決定します。

- ◆ タイトル番号、チャプター番号、音声言語、字幕言語、アングル、タイトル時間、チャプター時間、リピート、表示時間を設定できます。
- ◆ ディスクに記録されているタイトル、チャプターやそれぞれの時間を超える数字は受け付けません。

CD 再生時

1. 再生中にジャンプボタンを押す。

押すごとにディスクサーチ/トラックサーチの時間、トラック番号の指定画面が切り換わります。



2. ジャンプしたいトラック番号または時間を数字ボタンで入力する。

指定の位置にジャンプします。

- ◆ ディスクに記録されているトラック時間またはトータル時間を超える数字は受け付けません。また、ディスクに記録されているトラック番号以上の数字を入力すると最後のトラックにジャンプします。

ブックマーク再生

お好きなシーンでブックマークを付けておくと、いつでもその位置に移動することができます。マークは12ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

1. 再生中にジャンプボタンを2秒以上押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2秒以上押す



2. マークをしたいシーンになったら再生／一時停止 (▶||) ボタンを押す。



- ◆ 右方向 (▶) ボタンを押してブックマークの枠を移動します。次にマークしたいシーンになったら、再生／一時停止 (▶||) ボタンを押します。同様に、12ヶ所までマークを付けることができます。
- ◆ ブックマークの枠は、順番に関係なく方向 (▲/▼/◀/▶) ボタンで好きな枠を選んで、マークを付けることができます。
- ◆ すでにマークされた枠を選んで停止 (■) ボタンを押すとブックマークは消去されます。
- ◆ 電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、すべてのブックマークが解除されます。

ブックマークを使う

1. ジャンプボタンを2秒以上押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. 方向 (▲/▼/◀/▶) ボタンを押し、再生したいブックマークを選ぶ。
3. 再生／一時停止 (▶||) ボタンを押す。

ブックマークされた位置から再生が始まります。

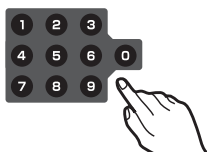
数字ボタンで選択する

DVDのチャプターやCDのトラックをリモコンの数字ボタンで直接選んで再生を始めることができます。

1. 再生中に数字ボタンを押す。

チャプターまたはトラックの入力画面が表示されます。

2. 数字ボタンで好きなチャプター／トラックを選ぶ。



(トラック指定の例)

トラック3を指定 → 「0、3の順に押す。」

トラック10を指定 → 「1、0の順に押す。」

トラック25を指定 → 「2、5の順に押す。」

- ◆ 指定したチャプターやトラックから再生が始まります。
- ◆ ディスクに記録されているチャプター、トラック数以上の数字を入力すると、最後のチャプター、トラックに移動します。

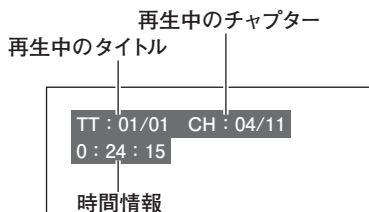
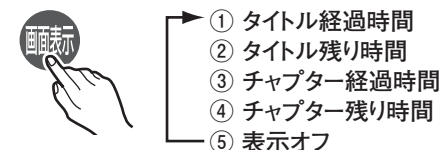
再生情報を表示する

チャプターやトラックの経過時間や残り時間など、再生中の映像や音楽の情報を確認することができます。

画面表示ボタンを押す。

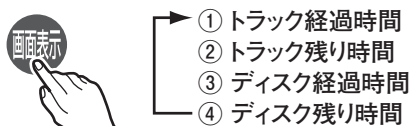
押すごとに表示内容が切り換わります。

DVD再生時



- ◆ 画面表示ボタンを繰り返し押して表示オフにすると表示が消えます。

CD再生時



消音(ミュート)にする

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。



- ◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ◆ スタンバイまたは電源スイッチをオフにすると解除されます。

スタンバイにする

本機を待機状態にすることができます。

スタンバイ (⏻) ボタンを押す。



- ◆ 電源ランプは消灯します。
- ◆ スタンバイ状態でもう一度スタンバイ (⏻) ボタンを押すと、電源がオンになります。
- ◆ 電源オフと同じ状態ですが、待機電力を消費します。数時間以上ご使用にならないときは右側面の電源スイッチをオフにすることをおすすめします。

スリープ機能

指定時間後に本機を待機状態にすることができます。

スリープボタンを押す。

押すごとに指定時間が切り換わります。



- ① 30分
- ② 60分
- ③ 120分
- ④ 180分
- ⑤ 240分
- ⑥ オフ

スリープ 30分

※時間はおおよその目安です。

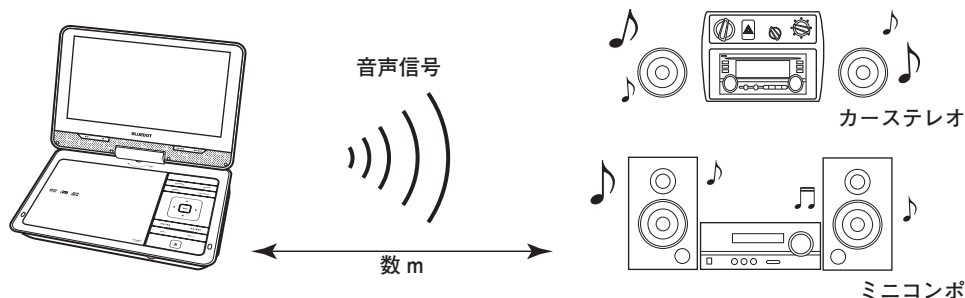
カーステレオなどに音声を飛ばす(FMトランスミッター)



航空機内、病院や医療機器、心臓ペースメーカーの近く、自動ドアや火災報知器など自動制御機器の近くではFMトランスミッターをオフにしてください。

重大事故につながる恐れがあります。

FMの電波を利用して本機の音声をカーステレオなどのFMラジオに飛ばすことができます。



送信側の操作(本機)

FMトランスミッターをオンにし、周波数を選択します。

1. 設定ボタンを押す。
2. 下方向(▼)ボタンで「FM周波数の選択」を選び、右方向(▶)ボタンを押す。
3. 上下方向(▲/▼)ボタンでFMラジオの周波数を選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

FMトランスミッターをオンにすると起動画面右下にFM周波数の表示が出てお知らせします。

FM 88.7 MHz

お近くのFM放送局の周波数から離れるほど混信による雑音が小さくなります。

◆FMトランスミッターをオフするためには、ここで「オフ」を選びます。

4. 設定ボタンを押す。

設定画面を終了します。

受信側の操作(FMラジオ)

FMラジオをオンにして、周波数を合わせます。

1. 受信するカーステレオなどのモードを「FMラジオ」にする。
2. DVDプレーヤー側(左枠の手順3.)で設定した周波数に合わせる。
3. 音量を調整する。

◆ 操作方法は各機器の取扱説明書を参照してください。



- ・ FMトランスミッターをオンにすると本機から音は出なくなります。
- ・ ノイズが大きい場合はDVDプレーヤーをアンテナに近づけてください。また送信側と受信側の周波数が一致しているかご確認ください。
- ・ アンテナや本機の位置、遮蔽物やノイズなど周辺状況により受信できない場合があります。

MP3/JPEG ファイルを再生する

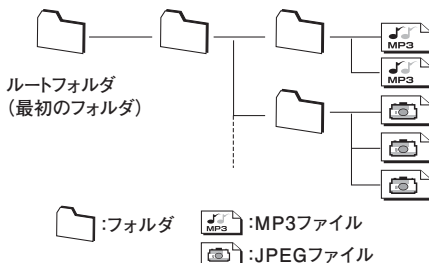
本機では、高音質なままファイルサイズを小さくできる MP3 ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われている JPEG 画像を再生することができます。

- 再生するファイルには拡張子が「.mp3」(MP3 ファイル)、「.jpg」(JPEG ファイル) 以外のデータを混ぜないでください。
- 異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは避けてください。
大きな雑音が発生する恐れがあります。

ファイル：音楽CDのトラック(曲)の相当します。

フォルダ：ファイルを収納しているフォルダです。

ファイルやフォルダは階層構造になっています。



準備

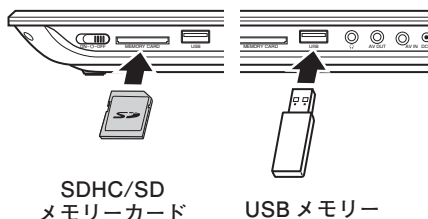
メディアをセットする

◆ ディスクを再生するとき

電源スイッチをオンにし、ディスクをセットする。(15 ページ参照)

◆ メモリーカード/USB メモリーを再生するとき

- 電源スイッチをオフにする。
- SDHC/SD メモリーカードをカードスロットに、または USB メモリーを USB 端子に差し込む。



- 電源スイッチをオンにする。
- ※ SDHC/SD メモリーカード、USB メモリーを抜き差しするときは必ず電源スイッチをオフにしてください。

再生するメディアを選択する

リモコンの入力切換ボタンを2秒以上押し、DVDとメモリーカードを切り換える。

2 秒以上押す



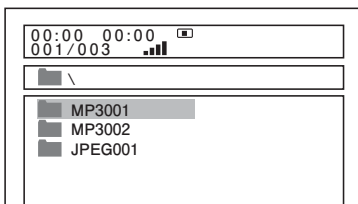
※ ディスクが入っていない状態でメモリーカードやUSBメモリーを差し込むと自動的にこれらのメディアを読み込みます。

※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては、本機で再生できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

1. メディアを選択する。

メディアの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。

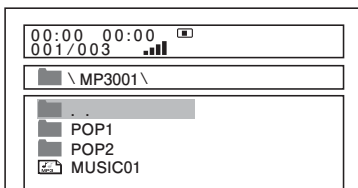


2. 下方向(▼)ボタンを押して開きたいフォルダを選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。

目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。

一番上にある「..」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。



3. 再生するファイルを選び、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

再生が始まります。



- ◆ 画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

いろいろな再生

スキップ(飛び越し)

再生中にスキップ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。

- ◆ 再生中のフォルダを超えてスキップすることはありません。

- ◆ ファイルリピート中は機能しません。

リピート再生(繰り返し)

リピートボタンを押す。

押すごとに、ファイルリピート、フォルダリピート、リピートオフが切り換わります。

1 ファイル再生 :

このファイルのみ再生し停止します。

ファイルリピート :

同じファイルを繰り返します。

フォルダリピート :

フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

AB リピート再生

リピートを開始させる場所と終了させる場所で、それぞれ A-B ボタンを押す。

指定した区間を繰り返し再生します。

- ◆ もう一度 A-B ボタンを押すと、再生位置から通常再生に戻ります。
- ◆ JPEG ファイルの再生中は機能しません。

JPEG ファイルのいろいろな再生

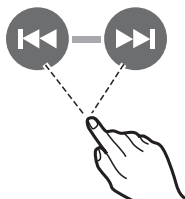
JPEG ファイルの再生中に一定の操作をすることで、様々な機能を楽しむことができます。ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

前後の画像をスキップする

ボタンを押して前後の画像にスキップします。

画像表示中にスキップボタンを押す。

前の画像へ 次の画像へ



◆ ファイルリピート再生中は機能しません。

サムネームモードで選ぶ

画像を12ファイルずつ縮小表示させることができます。

1. 画像表示中に停止ボタンを押す。



2. 左右方向(◀/▶)ボタンで再生したい画像を選択し、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

選んだファイルから再生が始まります。

次の12ファイル分を表示するには後スキップ(▶▶)ボタンを、前の12ファイルに戻るには前スキップ(◀◀)ボタンを押します。

◆ 画面右下のガイドに従って操作してください。

ズーム再生

画像を拡大することができます。

ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



- ① 100%
- ② 125%
- ③ 150%
- ④ 200%
- ⑤ 75%
- ⑥ 50%

◆ 拡大表示のとき、方向(▲/▼/◀/▶)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ ズームボタンを押すと一時停止状態になります。

◆ 画面画素数を超える高解像度の画像であっても一旦画面に合わせて縮小され、この縮小画像を拡大します。

画像を回転/反転表示する

画像を90度ずつ左右に回転させたり、上下/左右に反転させることができます。

画像表示中に左右方向(◀/▶)または上下方向(▲/▼)ボタンを押す。

押すごとに、画像が回転または反転します。



◆ ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの出力方法や画質調整、DVD 言語など、様々な設定がされています。これらの初期設定値を、お好みやお使いの接続機器などに合わせて変更することができます。設定内容は次のようになっています。

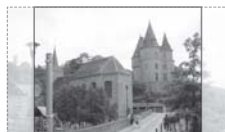
(で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

テレビ表示(ディスクによっては設定が有効にならない場合があります。)

パンスキャン/PS:

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに本機を接続するときに選択します。

ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされます。



レターボックス/LB:

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに本機を接続するときに選択します。

ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。



ワイド:

ワイドスクリーンテレビに本機を接続するときに選択します。



OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) 言語

英語(English)と日本語が選べます。

キャプション

クロズドキャプションのオン(出力する)、オフ(出力しない)を選びます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのオンまたはオフを選択します。

スクリーンセーバーをオンにすると約4分間映像が停止するか、操作がなかった場合、スクリーンセーバー画面になります。

レジューム

レジューム機能のオン(有効)またはオフ(無効)を選びます。

FM 周波数の選択

FM トランスミッターのオフ(出力しない)または音声出力するFM ラジオの周波数(87.7MHz、87.9MHz、88.1MHz、88.3MHz、88.5MHz、88.7MHz、88.9MHz)を選びます。

ドルビーデジタル設定

デュアルモノ

ステレオ : ステレオで出力されます。

モノラル(左) : 左右のチャンネルに左チャンネルの信号が出力されます。

モノラル(右) : 左右のチャンネルに右チャンネルの信号が出力されます。

ミックスモノラル : 各チャンネルをモノラルにミックスします。

ダイナミックレンジ

ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を圧縮して、小音量でも音声を聞き取りやすくすることができます。

OFF が圧縮無しで、**FULL** がダイナミックレンジを最大限圧縮します。

イコライザ設定

イコライザ設定

再生しているビデオや音楽のジャンル、音質の好みに合わせて、8種類のパターンからイコライザのタイプを選択することができます。

イコライザのタイプ : **なし(フラット)**、ロック、ポップ、ライブ、ダンス、テクノ、クラシック、ソフト

リバーブ設定

リバーブモード

再生しているビデオや音楽のジャンル、音質の好みに合わせて、8種類のパターンから残響音のタイプを選択することができます。

リバーブのタイプ : **オフ**、コンサート、リビングルーム、ホール、バスルーム、洞窟、アリーナ、教会

明るさ

液晶画面の明るさを -8 ~ +8 の間で設定します。
再生 / 一時停止 (▶||) ボタンで選択し、左右方向 (◀ / ▶) ボタンで調節します。
再び再生 / 一時停止ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
※ 工場出荷時は 0 に設定されています。

コントラスト

液晶画面のコントラストを -8 ~ +8 の間で設定します。
再生 / 一時停止 (▶||) ボタンで選択し、左右方向 (◀ / ▶) ボタンで調節します。
再び再生 / 一時停止ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
※ 工場出荷時は 0 に設定されています。

色合い

液晶画面の色合いを -8 ~ +8 の間で設定します。
再生 / 一時停止 (▶||) ボタンで選択し、左右方向 (◀ / ▶) ボタンで調節します。
再び再生 / 一時停止ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
※ 工場出荷時は 0 に設定されています。

彩度

液晶画面の彩度を -8 ~ +8 の間で設定します。
再生 / 一時停止 (▶||) ボタンで選択し、左右方向 (◀ / ▶) ボタンで調節します。
再び再生 / 一時停止ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
※ 工場出荷時は 0 に設定されています。

画面サイズ

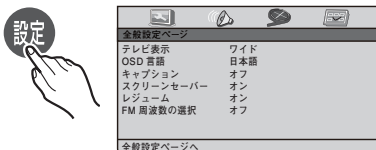
画面の縦横比を 16:9 と 4:3 から選べます。

※「基本設定」はディスクの完全停止中のみ操作できます。

基本設定	テレビ方式 PAL: ヨーロッパなどで採用されているテレビのタイプです。 マルチ: PALとNTSCのテレビタイプに合わせて、自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。 NTSC: 日本国内(ほかにアメリカなど)で採用されているテレビのタイプです。
	音声、字幕、ディスクメニュー 音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。 ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。 特に指定言語が記録されていないときは、この設定にしたがいます。 設定可能言語: 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語 ※工場出荷時は音声、ディスクメニューが「日本語」、字幕は「なし」に設定されています。
	視聴年齢制限 子どもに見せたくないディスクなどのレベルを規制する機能を設定します。 ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。 例えば 5. PG-R に設定すると 6. R 以上のレベルは再生できなくなりますが、そもそもディスクに規制レベルが設定されていない場合は、この設定は機能しません。 1. Kid Safe、2. G、3. PG、4. PG-13、5. PG-R、6. R、7. NC-17、8. アダルト から選択します。
	パスワード変更 変更: 「視聴年齢制限」のパスワードを変更をするときに選択します。 (設定方法は31ページを参照。)
	初期設定 リセット 工場出荷時の設定に戻します。

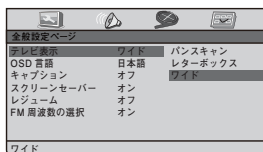
各種設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



基本設定はディスクの完全停止中のみ変更できます。

2. 左右方向(◀/▶)ボタンで分類を選び、上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選ぶ。



3. 右方向(▶)ボタンを押し、上下方向(▲/▼)ボタンで設定内容を選択する。

上図の例では「テレビ表示」の「ワイド」を選んでいきます。

4. 再生/一時停止(▶||)ボタンを押して決定する。

5. 左方向(◀)ボタンで前のメニューに戻る。

6. 設定ボタンを押す。

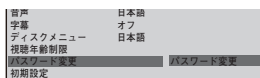
設定画面を終了します。

パスワードを変更する

1. ディスクの完全停止中に設定ボタンを押す。

2. 左右方向(◀/▶)ボタンで「基本設定」を選び、下方向(▼)ボタンを押す。

3. 下方向(▼)ボタンで「パスワード変更」を選び右方向(▶)ボタンを押す。



4. 「パスワード変更」が選択されるので、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

旧パスワード

新パスワード

パスワードの確認

5. 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

旧パスワード

新パスワード

パスワードの確認

6. 新パスワードを入力します。

7. 新しいパスワードをもう一度入力し、再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

8. 設定ボタンを押す。

設定画面を終了します。

液晶画面を調節する

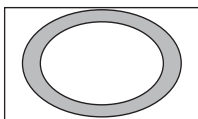
液晶画面の表示モードを変更することができます。画面の明るさ、コントラスト、色合い、彩度は設定メニュー（29 ページ）で変更できます。

画面の表示モードを切り換える

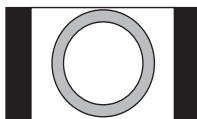
再生中または停止中に、リモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

①全画面 (16:9) モード



②標準 (4:3) モード



故障かな？と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応
電源がオンにならない。	・ 本機とACアダプターとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 内蔵バッテリーは、あらかじめ充電してからご使用ください。 ・ 高温/低温下では使用できない場合があります。 ・ 本機の電源スイッチがオフになっていないか、ご確認ください。 ・ 本機がスタンバイ状態になっていないか、ご確認ください。
ディスクが再生できない。	・ ディスクをクリーニングしてから再度お試しください。 ・ 本機で再生できる規格のディスクか、ご確認ください。 ・ テレビ番組を録画したDVDは、ファイナライズ処理を施してください。 ・ ディスクトレイ内でディスクがしっかりと固定されているか、ご確認ください。 ・ ディスクはラベル面を上にして固定してください。 ・ 本機内に結露が無いか、ご確認ください。ディスクを取り出し、電源スイッチをオフにし、乾燥した場所で結露がなくなるまで放置してください。 ・ AV入力モードになっていたり、メモリーカードの再生画面になっていたりしないか、ご確認ください。
テレビに映像が出ない。	・ テレビとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 付属の本機専用オーディオ・ビデオコードをご使用ください。 ・ 別の端子にプラグを接続していないか、ご確認ください。 ・ 外部入力モードへの切り換えなど、テレビ側の操作が適正か、ご確認ください。 ・ 本機の「テレビ方式(NTSC/PAL)」の設定が適切か、ご確認ください。 ・ ビデオデッキやDVDレコーダーなどを経由している場合は、直接テレビに接続してください。
音が出ない。	・ 本機の音量(ボリューム)が最小になっていないか、ご確認ください。 ・ ヘッドホンが差し込まれたままになっていないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ テレビやアンプの音量操作が適正か、ご確認ください。 ・ DTS形式の音声には対応していません。 ・ FMトランスミッターがオンになっていないか、ご確認ください。オンの間はスピーカーやイヤホンから音は出ません。
音質が悪い。	・ 収録されている音声の音質に問題はないかまたは録音レベルが高すぎないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 本機に携帯電話を近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

リモコンが効かない。	・工場出荷時は、電池が放電しないように保護シートが挟まれています。この保護シートを丁寧に引き出してから使用してください。 ・本機の電源スイッチがオフになっていないか、ご確認ください。 ・リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。 ・リモコンと本機の間にある障害物を取り除いてください。 ・電池を新しいものと交換してください。
バッテリーを充電できない。 動作時間が短い。	・本機の許容動作温度範囲外の高温/低温下では正常に充電、放電できない場合があります。 ・リモコンのスタンバイボタンでスタンバイ状態にして放置すると、バッテリーを消費し、バッテリー残量が少なくなったり、ゼロになったりします。数時間以上ご使用にならないときは、電源スイッチをオフにしてください。 ・スリープタイマーでスタンバイ状態になった後に長時間放置すると、バッテリー残量が少なくなったり、ゼロになったりします。電源スイッチをオフにし、充電してください。 ・FMトランスミッターを使用するとバッテリーの動作時間が通常より短くなります。 ・長時間ご使用にならなかった場合、しばらくの間、動作時間が短くなる場合があります。充放電を繰り返すと回復します。 ・バッテリーの寿命の可能性があります。弊社サポートセンターにご相談ください。お客様ご自身でのバッテリー交換はできませんのでご了承ください。
FM ラジオで本機の音声を受信できない。	・設定でFMトランスミッターがオンになっているか、ご確認ください。 ・本機のFMトランスミッターの周波数と受信側のFMラジオの周波数が一致しているか、ご確認ください。 ・本機と受信側のFMラジオの距離が離れすぎていないかご確認ください。 ・受信側のFMラジオの音量がゼロになっていないかご確認ください。 ・無音または録音レベルが小さいディスクを再生していないかご確認ください。 ・受信側のFMラジオのアンテナが正しく設置されているか、伸ばされているか、ご確認ください。 ・遮蔽物やノイズなど周囲環境により受信できない場合があります。

技術仕様

型名	BDP-1030K
画面サイズ	10 インチワイド
画面画素数 (水平 × 垂直)	1024×600×3 (RGB) 画素
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	264×194×47mm (突起部含む)
本体質量	約 1.2kg (内蔵バッテリーを含む)
連続再生時間	約 6 時間
バッテリー充電時間	約 8 時間
FM トランスミッター	87.7MHz、87.9MHz、88.1MHz、88.3MHz、88.5MHz、 88.7MHz、88.9MHz
電源	充電式バッテリー内蔵 AC アダプター (DC9V 1.0A, 100～240V 対応) カーバッテリーアダプター (12V 車専用)
消費電力	20W 以下
許容動作温度	5～35℃
入出力端子	ヘッドホン端子 × 1、AV 出力 × 1、AV 入力 × 1、電源入力 × 1
USB / メモリーカード	USB 端子 × 1、 メモリーカードスロット × 1 *SDHC メモリーカード (32GB まで) SD メモリーカード (2GB まで)

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

著作権について

- ◆ 著作物を無断で複製、放送、有線放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)などを行なうことは、法律により禁止されています。
- ◆ 本機は、米国の特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用には Rovi 社の許可が必要であり、同社の許可がない限りは、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
また、解析(リバースエンジニアリング)や改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ Dolby、ドルビー、およびダブル D 記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ◆ DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンシングの商標です。



バッテリーのリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池はリサイクルすることができます。

取り外しのための分解はお客様自身で行わずに、弊社お客様サポートセンターまでご相談ください。

困ったときは・・・

- p.33～p.34の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
- 弊社ホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご確認ください。
<http://www.bluedot.co.jp/support/>
- お客様サポートセンターにご連絡ください。
BLUEDOT お客様サポートセンター
TEL:0570-010080(ナビダイヤル)
※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで
※ご利用時間は10:00～17:00(土、日、祝日、会社指定休日を除く)
FAX:043-295-8852
E-mail:support@bluedot.co.jp

BLUEDOT[®] 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

ホームページ : <http://www.bluedot.co.jp/>